Carb（糖質応答）＋Vasc（血圧系応答）＋HR/SV（脱水系）＋NeuroPPG（血管反応性）を1つの時間軸で統合評価する。

糖質・血圧系応答モニタリング

CarbSens

糖質・血圧系応答モニタリング

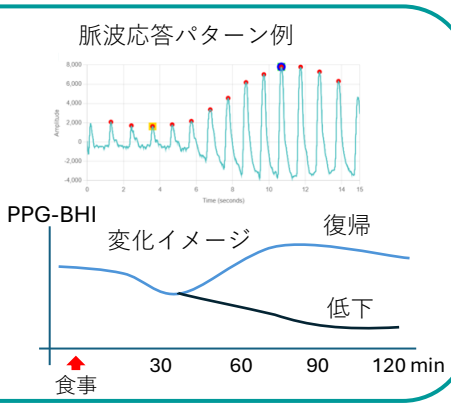
食事や環境変化によって生じる“糖質応答の傾向” Carb値と脈拍・脈波由来の“血圧系応答” Vasc値、さらに脱水・貧血傾向 HR/SVを一つのデバイスで同時測定。日常の食生活を見直す具体的ヒントが得られます。

Neuro-PPG構想

手首だけでなく複数部位（Dual）の脈波を同時に測定し、脳の応答性を末梢脈波の変化として捉えることで、生活パフォーマンス・コンディションの向上に役立つ日常的な気づきと、認知機能の早期変化を捉える評価の包括的構想です。

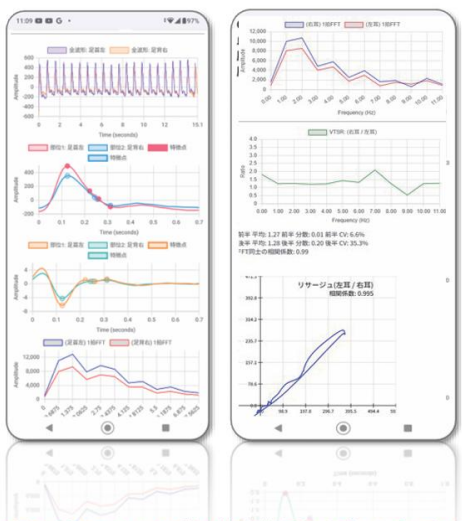
簡易息こらえ応答指標（PPG-BHI）

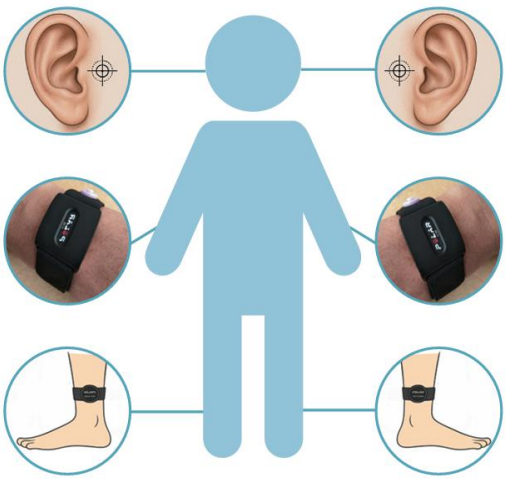
数秒の呼吸負荷（息を吸って止めて吐く）に対する脈波の応答を解析し、集中度やリアクネス（頭の冴え）、食後の“頭のもやもや”の変化に加え、脳血管・神経応答の低下と関連する認知機能の早期変化にも気づきを与える指標として活用します。



センサー２台（最大４台）同時測定（Dual機能）に対応

左右差の可視化など、ストレスや脳血流に関する研究用途にも有用です。

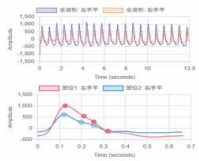


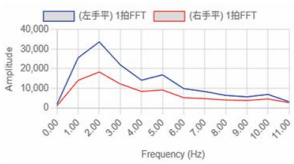


⚠注意事項 CarbSensは、日常の健康管理をサポートするためのツールです。本製品は医療機器ではなく、診断、治療、または病気の予防を目的としたものではありません。測定結果や推定値は参考情報としてご利用いただき、健康に関する重要な決定を行う際には、必ず医療専門家にご相談ください。

CarbSens測定例

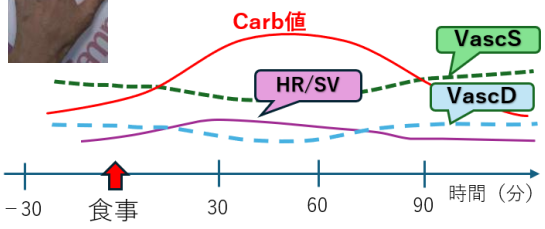
左右ー脈波バランス・ストレス・自律神経機能評価





左右の手足など、複数部位の脈波を同時に 計測し、脈波の「左右同期度」や波形の左右 差をリアルタイムに比較・解析します。脈波は 自律神経の左右バランス変化を反映し、脳血 流の左右差に関する研究やストレス評価の指 標としての応用が期待されています。

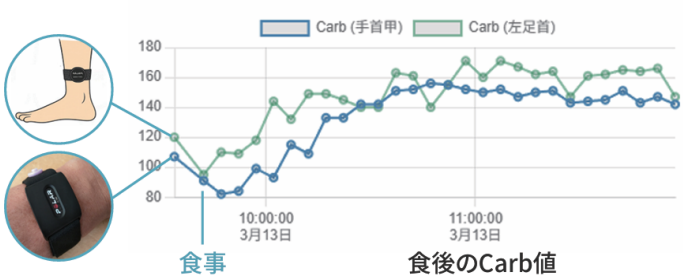
糖質＋血圧系応答+脱水系の同時モニタリング



Carb値+Vasc(血圧系反応)、HR/SV(脱水・貧血系)

食後の脈波変化から、糖質の影響や代謝の傾向(Carb値）、血圧関係の応答(Vasc値）さらに脱水・貧血傾向(HR/SV)を同時に推定し表示します。血糖値や血圧を測らずに、日常の食生活を見直す具体的ヒントが得られます。（手首甲、手の平で測定します。）

手首、足首で糖質応答モニタリング



※CGMのような遅延がない、足首はドライバーモニター用

手首や足首の脈波の変化から、食事による糖質の影響や 代謝の傾向を針を刺さずに推定します。食後や暑熱環境での身体の変化、運転時の反応の緩慢 さなど、“背景にある生理反応”を把握するためのヒント として活用できます。

■ 私たちについて

一般社団法人日本健康開発機構（JaWDA）は、「血管状態の可視化」を軸にした新しいヘルスケア基盤の構築を目指しています。生活習慣病・循環器疾患・認知症などの予防と早期介入に向け、非侵襲・連続的に可視化する独自の計測システムで研究開発・モニタリングサービスを提供しています。

■ 開発パートナー募集

私たちのビジョンに共感し、共に新しい価値を創造していただける企業様・研究者様の参加ををお待ちしています。

お問い合わせ

一般社団法人
日本健康開発機構（JaWDA）
〒103-0004
東京都中央区東日本橋3丁目4-10
アクロポリス21 8階
Tel: 03-6661-0506 /
Mail: contact@jawda.jp

© 2026 JaWDA

さらに詳しい情報はこちらから

詳細技術サイトのご案内
https://carbsens.com/

公式ホームページ
https://jawda.jp/